

新千歳空港について…空港ビル・航空局

1. 冬期運航における安全性・定時性向上に向けた除雪体制のさらなる強化について

① 滑走路・誘導路の降雪などへの即応

(除雪所要時間の短縮、ならびに精度向上について)

冬期における除雪能力は年々向上しており、大きなイレギュラーは減少傾向にある。引き続き除雪所要時間の短縮、ならびにイレギュラー時のお客様への影響を最小限にするための除雪終了時間の精度向上に向けた取り組みを実施し、全般的な除雪精度の向上に努めることを要請する。

② 航空機および車両走行の安全性強化に向けた、特にスリップしやすいエリアの改修もしくは適切な除雪の実施について

冬期において、旅客や貨物搬送で頻繁に使用するC-GSE通路や0～3番スポット前におけるターミナルGSE通路を中心に、路面凍結のため車両がスリップし、搬送遅れなどが発生している。また、C-GSEエリアの勾配と凍結により、車両が動けなくなる事象も発生している。C-GSEエリアの勾配改善や除雪をさらに強化し、安全に通行できる状態を維持することを要請する。

2. ランプ内における課題について

① ターミナルエリアと貨物地区を結ぶGSE通路の改善について

LCCの就航に伴い、ターミナルエリアと貨物地区を結ぶC-GSE通路を走行する際、0・1・2スポットを使用する飛行機の出発・到着のために時間を要する事例が多く発生しており、そのために貨物搭載が遅れ、出発遅延につながる事例も発生している。ターミナルエリアと貨物地区を結ぶC-GSE通路が飛行機によって通行できなくなる時間の短縮を要請する。

〈出発待ちによるGSE通路渋滞の様子〉



〈車両通行帯の段差〉

② GSE通路全般の改善について

夜間や雨天時においては、GSE通行線が見えにくくなっている場所があり、車両の運転で危険を感じることもあるため、通行線の再塗装や、運航乗務員に影響を及ぼさない範囲で、通路全体を照射できる照明施設の設置など、さらなる改善を要請する。また、車両通行帯の舗装箇所の段差により、貨物運搬時に大きな揺れが生じ危険を感じるため、路面の点検ならびに改修を要請する。

③ 器材置き場の増設について

LCCの就航、受託外航便の増加により、国際線エリアにおいて器材置き場が不足しているため、国際線エリアにも器材置き場の設置を要請する。

④ ランプエリアへのAEDの設置について

空港ターミナル内にはAEDが設置されているが、ランプエリアにはAEDが設置されていない。ランプエリア作業員の安全の観点から、ランプエリアへのAEDの設置を要請する。

⑤ 空港敷地内への不法侵入対策の強化について

過去、鹿の侵入により2本の滑走路が閉鎖する事象が発生している。不法侵入の対策としてフェンスの設置による防止策がとられているが、航空機との衝突など、安全性を損なう事象に繋がりがねないことから、さらなる強化を要請する。

3. PBBの安全対策および老朽化について

① PBBステップの滑り止め対策について

冬期においては機側作業員（清掃・グラハン・整備）や運航乗務員が積雪・氷結したステップで滑る事例が報告されており、受傷も発生している。国際線ではヒーティング化されているが、国内線ターミナルでは実施されていない。現状では安全上問題があることから、PBB管理者による改善を要請する。

② 国内線PBBの老朽化について

国内線PBBは長年使用されており、雨漏りや作動しなくなるなど、老朽化が原因と考えられる不具合が多数発生しているため、点検の強化ならびに不具合箇所の早期改修を要請する。

③ 国内線PBB内の凍結防止について

国内線PBBは、冬期においては路面が凍結していることもあり、お客様が転倒する事象も発生している。冬期凍結を防止するためのさらなる対策を講じることを要請する。

4. 空港施設について

① バリアフリー法制化への対応の徹底について

現在、法制化に伴うバリアフリー化の取り組みが実施されているが、到着ロビーにエスカレーターが設置されていない箇所もある。すべてのお客様がシームレスに移動できる空港をめざし、到着ロビーへの動線が階段のみのエリアにエスカレーターを設置するよう要請する。また、車椅子やベビーカー利用者が、エアライン係員のサポートなしで、出発ロビー・到着ロビーに移動できるシームレスなサービスが提供できるように、到着階から到着ロビーへのエレベーターの設置についても要請する。

② 出発・到着の動線の分離について

LCC就航により、新千歳空港を発着する便数が増加し、近隣スポットで到着と出発が重なることも多く発生している。この時、到着のお客様の降機が終了するまで出発のお客様の搭乗を止めており、出発が遅れる事象が多々発生している。定時出発率の向上のためにも到着と出発の動線の分離が必要であり、クリーンエリア内における出発・到着の動線の分離に向けた早急な検討および改善を要請する。



(国内線ターミナルの混雑状況)

③ 乗り継ぎ動線の確保について

道内路線については、日本各地から新千歳空港を乗り継ぎ空港として利用されるお客様が増加傾向にある。現在、新千歳空港には乗り継ぎ専用の動線がなく、施設の都合上、一旦クリーンエリアから出て、再度セキュリティを通過して搭乗しなければならない場合もあり、乗り継ぎのお客様にとって面倒に感じられるとの意見も頂いている。道内路線の乗り継ぎ強化は、航空機を利用した道内の観光需要の向上にも寄与することから、乗り継ぎ動線の確保を要請する。

④ 国際線ターミナルの機能強化について

国際線旅客の需要増加と特定時間帯への便の集中への対応として、手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQに関する設備が増設されたが、増設したカウンターの配置場所は利便性が悪く、使用頻度も低いため、配置の見直しを要請する。今後、国際旅客のさらなる増加が予想される中、需要予測を考慮したうえで、手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQの処理能力向上を図ることを要請する。

観光政策について…北海道庁

1. 需要喚起に向けた観光施策の実現

① 国内の需要喚起について

北海道全域に広がる魅力に溢れた観光地のプロモーション活動を各自治体との協力のもとに強力に推進し、さらなる国内の需要喚起を図ることを要請する。また、リピーターとして何度も北海道を訪問するサイクルを生み出すためにも、航空各社・ホテル・レジャー施設などが、それぞれのノウハウを活かし、官民が一体となった観光政策の立案が必要であり、道庁による横断的な調整力と強力なリーダーシップを発揮するよう要請する。

② インバウンドの需要喚起について

北海道への外国人観光客数が150万人を超え、中国や台湾を中心としたアジア圏の方々が大半を占めている状況にある。一方、アジア圏以外の旅行者数も増加傾向にあり、国別や属性別などの分析を深めたうえで、戦略的に海外でのプロモーションを推進し、広域観光周遊ルートを活用するなど、北海道としてのリソースを最大限活用することを要請する。

2. 新千歳空港へのアクセス向上について

① 新千歳空港と札幌近郊地域における公共交通機関のアクセス向上について

JRのダイヤ改正により札幌から新千歳空港への到着時間が早まり、利用者の利便性向上が図られているものの、昨今の空港利用者数の増加、現在検討されている新千歳空港深夜枠利用便の増加を考えると、札幌近郊地域と新千歳空港間については地上交通機関同士の乗り継ぎを含め、さらなる利用者の利便の向上が必要である。札幌近郊地域と新千歳空港間における公共交通機関の利便性向上を図り、早朝および夜間帯の時刻設定の改善など、関係機関への働きかけを要請する。

② 新千歳空港駐車場の増設について

昨今、車で新千歳空港ターミナルを訪問するお客様が増加傾向にあり、連休や季節休暇時期を中心に駐車場が満車になり、混雑が発生している。これにより、航空機に乗り遅れるお客様や従業員の通勤にも影響が生じている。駐車場の拡張などにより、空港へ向かう道路の渋滞緩和への対策も必要であり、関係機関への働きかけを要請する。

1. 空港施設関連について

① 成田空港及び空港第2ビルの駅名について

JRおよび京成の駅名が「成田空港」、「空港第2ビル」となっており、初めて成田空港を利用されるお客様にとっては分かりにくい。英語表記と同様に「成田空港第1ターミナル」「成田空港第2・第3ターミナル」という、すべての利用者に分かりやすい表記に整理・変更するべきである。

② 成田空港駅および空港第2ビル駅の間改札について

成田空港駅京成電鉄の間改札及び空港第2ビル駅の京成電鉄/JRの交差した改札動線が複雑であり、改札口手前で立ち止まるお客様や、中間改札で切符を取り忘れたお客様により大変混雑している。特に空港第2ビルの間改札は鉄道会社をまたがっており、より複雑になっている。ノンストップゲートの実現により生み出されたスペースの有効活用により、シンプルでわかりやすい動線に改善すべきである。

③ T3へのアクセス向上について

T3には自家用車とバスが停車できるスペースがなく、お客様の利便性を損ねている。LCC専用ターミナルとしてのT3の位置づけは理解するものの、利用者にとっての成田空港全体の価値向上に向けて、停車スペースの確保、T2からのアクセス向上が必要である。

2. 都心との距離を克服するために

① 早朝・深夜の地上交通手段確保について

成田空港の路線網を有効活用するためには、早朝・深夜の地上交通手段の確保は重要である。宗吾参道以遠も含め、5時台に空港に到着する始発電車、および24時台に都心に向けて空港を出発する最終電車の設定が必要である。

② LCCバスの運行本数・ダイヤの充実について

成田空港をご利用のお客様の増加に対応して、LCCバスの運行便数も増加しているが、更なる利便性の向上に向けて各運行会社による改善が重要である。特に20時台～22時台はT3で満席になり、T1、T2から乗車できない事例が多く発生しており、公平性の観点でも増便が必要である。

3. 日本の空の玄関口を閉ざさないために

空港へのアクセス手段は、道路（一般道・高速）・鉄道（JR・京成本線・スカイアクセス線）と複数あるが、空港・自治体・運営会社が協議し、積極的に空港と都心や周辺地域とのアクセス手段を強化するなどの対策を講じる必要がある。

4. 空港での交通事故を防ぐために

① T1到着口から高速道路につながる 交差点入り口の標識について

T1到着口車両レーンから高速道路につながる交差点において、高速道路方面と一般道路方面へ進む標識がわかりづらく、車同士がぶつかりそうになる事例が散見される。高速道路方面と一般道路方面の道路の色分けや、交差点に入る更に手前から案内標識を設置するなどの改善が必要である。

5. 混雑解消でスマートかつスムーズな空港に

① 出入国審査場の混雑について

出入国検査場の外国人ブースでの混雑が目立ち、入国に1時間以上要するケースも散見される。ファストレーンの運用により一部のお客様を優先しているものの抜本的な対策にはなっていない。乗り継ぎ利便性の向上の観点からも、到着便が集中する時間帯のオープンブースの増設や職員の増員などの対応が必要である。

② 保安検査場の車いす専用レーンの設置について

T2保安検査場においては、恒常的な混雑に加え、車いす専用セキュリティレーンが無いため、一般の列に車椅子のお客さまが待っている状況にある。バリアフリー推進と混雑解消の観点から、車いす専用レーンの設置が望まれる。

6. より楽しく快適な時間を過ごして頂くために

① Wi-Fi電波の改善と携帯電話充電スポットの 拡充について

旅行先での情報収集にスマートフォンやタブレット端末を利用したWi-Fi通信は欠かせない。空港内のWi-Fi接続環境は構築されてはいるものの、電波が弱いエリアの改善を図る必要がある。また、モバイル端末充電スポットの増設が急務である。

7. 安心して旅を楽しんで頂くために

① T1空港クリニック診療時間について

T1にある空港クリニックの診療時間の拡大及び、土日祝の診療等、必要な時に利用できる環境整備が必要である。

② 救急車の増車について

体調を崩し空港から病院に救急車で搬送されるお客様が増加傾向にあるが、救急車を要請しても到着に時間を要する状況がしばしば発生している。成田空港はもとより成田市や近隣市町村とも連携し増車が必要である。

8. 日本の第一印象は成田空港で決まる!

① バスチケットカウンター前の混雑について

到着ロビーはピーク時には通行が困難になるほど混雑している。バスチケットカウンターを一元化する、もしくはLCCバスのように乗車時の支払いを可能にする運用など利用者にとってわかりやすい仕組みの導入が混雑解消につながる。

② 飲食店の営業時間延長について

現状多くの飲食店は21時までに閉店する。夜遅く日本へ到着した場合、空港内に立ち寄る飲食店がない。日本へ到着したお客様へのおもてなしの気持ちも込めて、営業時間を延長すべきだと考える。



〈第2PTBにOPENした24時間営業の飲食店(2016年7月)〉

9. 貨物事業

① 特殊貨物に対応できる上屋へ

海外の空港では貨物解体場所自体が冷蔵施設のものもあり、またパレットごとX-RAY検査が出来る設備が整えられている。今後の航空貨物の安全性・高速性・品質を保つためには、貨物上屋の拡大や冷蔵・冷凍施設などの特殊貨物を取り扱える施設の拡大・充実が求められる。

働きやすい産業に向けて 安全・安心な職場に

1. 働く人を支えて魅力ある場所にするために

① 児童福祉施設・託児所の充実

育児を抱える人が安心して働くことができる地域社会実現のために、「大規模空港を抱える行政の支援」をはじめ、「空港会社としてのサポート」についても、改善が必要である。女性活躍推進の考えのもと、空港内の保育施設「たんぼぼ」拡充が必要不可欠である。

② 空港周辺地域の保育施設の運用拡大

空港通勤圏内の近隣市町村や、千葉県からの協力も含め、より多くの労働者の就業継続の観点から、時間外保育の運用時間拡大が必要である。

2. 働きやすさの改善に向けて

① APU運転可能時間の延長

787機材は他機種と異なり多くの電力を必要とするため、整備作業を実施する際に地上電源では十分な電力を確保できず、APU(補助エンジン)を使用する機会が大幅に増加しているが、

夜間23:00～6:00の間は申請が必要で許可されない場合もある。APUの低騒音性能が格段に向上している背景を踏まえ、24時間使用可能な運用にすることで、業務効率を向上させ航空機の運航の維持に寄与できると考える。

② 空港内車両制限速度の規制緩和

ランプ内における車両制限速度(建物沿い)は15km/時と定められているが、空港内業務の生産性および安全性の観点からも空港内車両運転許可の全国統一化を視野にいれたうえで、適切な車両制限速度の設定が望まれる。

3. 安心して働ける場所にするために

① ダムウェーターの設置・機能強化について

荷物昇降用のダムウェーターはT1の一部のスポットに設置されているのみで、T2には一台も設置されていない。ダムウェーターが無いスポットでは、重い荷物で両手を塞いだままPBBを降りなければならず、安全上の課題がある。今後の更なる空港容量拡大を見据え、設備の増設、強化が望まれる。

② ランプ内の歩行者通路の確保

空港内の走行帯にはスポットへ出るための横断歩道が少なく、車道を横断せざるを得ない状況もあり危険である。歩行者が各スポットへ安全に渡れるように適切な間隔で横断歩道を配置する必要がある。また、T2本館とサテライトの連絡通路下を徒歩で通行する人が増えてきている。歩道を整備するなどの安全確保が必要である。

4. ランプ内施設のメンテナンスと運用改善・道路補修について

ランプエリア内、木の根トンネル入り口(第1PTB側)のマンホールが路面に対して凹んでおり走行時に危険であるため、改善を要望する。



〈マンホールの凹み〉

働きやすい産業に向けて 航空連合本部との連携

① AUTO ELT試験電波発射の規制緩和

就航便の定時性確保の観点から、試験電波発射時間制限を緩和(毎時30分から35分を追加設定)することをお願いしたい。

② 空港内車両運転許可の全国統一化と再発行時の簡素化

運転免許証を所持し、1か所の空港での港内ルールを理解している者に対しては、許可申請のみで運転が可能となるよう働きかけをお願いしたい。また、転勤後10年以内の再発行の場合、申請と事業所からの変更点の説明のみで許可できるよう、手続きの簡素化を検討いただきたい。

航空連合 東京

1. 航空局東京空港事務所

① ランプ内安全：ランプ内損傷箇所の補修及び 利便向上のための改修要望について

羽田空港のランプ内で働くものの安全確保や利便性の改善のため、ランプ内損傷箇所の補修および改修が必要な箇所への対応をお願いしたい。

② オープンスポットでの雷接近時の情報発信について

ランプ作業員の安全確保の観点から、空港運営者から一律に落雷警報を発する仕組みを検討いただきたい。

③ ランプパスのより柔軟で効率的運用に向けて

2020年東京オリンピック開催に向け、他空港から羽田空港への中長期的な支援要員の派遣が予想される。その間、円滑に業務を遂行できるよう柔軟かつ効率的な運用の改善をお願いしたい。

④ ランプ内の保安強化について

訪日外国人旅客数のさらなる増加が見込まれる中、ランプ内における保安対策の強化が必要であり、対応をお願いしたい。

⑤ 災害時の空港職員出社対応について

空港周辺において、公共交通機関を担う航空関係者、車両が優先的に通行できる交通規制をお願いしたい。

⑥ インシデント発生時の空港の早期運用再開について

2016年5月に大韓航空機による重大インシデントが発生した件について、300名もの緊急脱出にも関わらず重症者が出なかったことは、迅速な消火活動など、適切な初動の結果だと認識している。一方、現場で旅客対応を行った職員からは、その後の対応について課題が挙げられており、本事案の対応を振り返り、空港の早期運用再開に向けた今後の対応を検討いただきたい。

2. 日本空港ビルデング

① 保安強化について

空港がテロの標的となっていることから、万が一の場合に備えて警察官や警備担当による出発・到着ロビーの巡回強化を検討いただきたい。

② 施設改修について

第1ターミナル到着ロビーの照明が暗いため、LEDへの変更や照明の改善を検討いただきたい。また、2014年3月のターミナル再拡張により、国内、国際双方の乗り継ぎ旅客が増加し

ているが、さらなる利便性向上に向け、国内⇄国際の乗り継ぎバスや、飲食店の営業時間の延長など、改善をお願いしたい。

③ お手洗いについて

クリーンエリア内のトイレの増設をお願いしたい。また、女子トイレ内のパウダールームの拡大や、従業員用トイレの自動水洗化についても検討をお願いしたい。

④ 災害対策について

建物の耐震性を強化するとともに、空港関係者への災害マニュアルの共有を徹底いただきたい。

3. 東京国際空港ターミナル

① 乗り継ぎの利便性向上について

国内⇄国際の乗り継ぎバスの利便性向上や、イレギュラー時の運用時間の柔軟な対応、TIAT⇄国内線ターミナル間の移動手段の周知促進について検討をお願いしたい。

② タクシープール、バスプールの混雑緩和に向けて

一般車両ゾーンの変更や、深夜時間帯のタクシーレーン、タクシー乗り場の位置の移動などを検討し、混雑の緩和をお願いしたい。また、一般停車車両、不法停車車両の取り締まりを強化し、駐車場への案内をお願いしたい。

③ 出発ロビー内のカウンター表示の改善

成田空港やT1、T2と比較して大きな表示がなく、お客様からチェックインカウンターへの問い合わせが非常に多いため、旅客から見やすいモニターもしくはカウンターの表示を設置するよう検討をお願いしたい。



〈国際線ターミナルの案内板〉

④ FREE Wi-Fiの周知改善と今後の環境の整備

Wi-Fiのつながりやすさの向上とともに、FREE Wi-Fi接続方法の周知を強化する必要がある。また、現行国際線ターミナルと国内線ターミナルで無料Wi-Fiが異なっていることや、無料連絡バス内ではWi-Fiが繋がらないため、羽田空港全体の環境整備、改善をお願いしたい。

⑤ ターミナルにおける防災について

津波対策計画を策定し、訓練、表示等が対応されているが、自動音声における中国語、韓国語など多言語対応を検討いただきたい。

4. 京浜急行電鉄

① 羽田空港駅について

羽田空港内の案内板を外国のお客様にも分かりやすい表示に改善することや、羽田空港国内線ターミナル駅のエレベーターの改

善、国際線ターミナル到着時のアナウンスの改善をお願いしたい。

② 京急蒲田駅について

運行イレギュラー時の案内強化やバリアフリー化、京急蒲田駅の案内言語の多言語化など改善をお願いしたい。

③ 京急品川駅について

乗車位置をより分かりやすく案内するとともに、英語によるアナウンスの強化をお願いしたい。

④ その他の駅について

天空橋駅の東京モノレール乗換え改札の改善や、穴守稲荷駅ホーム・糀谷駅ホームの安全性確保を検討いただきたい。

⑤ 利便性の向上に向けて

土曜・休日の終電ダイヤの改善や、使用可能クレジットカードの拡充を検討いただきたい。

5. 東京モノレール

① 駅構内の利便性向上やバリアフリー化について

浜松町駅構内の混雑緩和や浜松町駅中央口における乗換え口の拡充を検討いただきたい。また、他社線乗り継ぎにおける利便性確保や天王洲アイル駅でのりんかい線への乗換え動線の改善、新整備場駅のバリアフリー化を検討いただきたい。加えて、羽田空港第1ビル/第2ビル駅の案内板を改善いただきたい。

② 設備や車両の快適性、利便性向上について

自動券売機についての利便性向上や、ホーム乗車口の段差改善を検討いただきたい。また、旧型車両内における荷物置き場の改善や、新型車両内の荷物置き場の使い方の表示等について検討をお願いしたい。

③ ダイヤについて

天空橋駅での東京モノレールと京浜急行の乗り継ぎの改善を検討いただきたい。また、国際線深夜帯発着便に対応したダイヤや、始発・終電の時間設定について改善をお願いしたい。

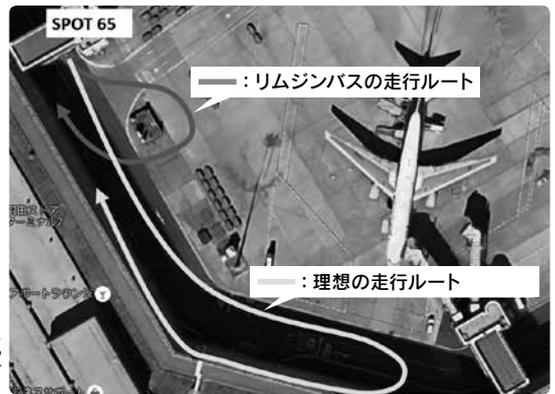
6. 京浜急行バス・東京空港交通

① 空港で働くものにとっての交通利便性の向上

空港利用者（お客様）だけではなく空港勤務者の動線・ニーズを考慮することで、より効率的なダイヤになると考えるため、検討をお願いしたい。また、高速バスの新整備場地区バス停周辺について、雨除けを設置するなど施設改善について検討いただきたい。加えて、羽田空港行き高速バスの運賃設定の拡充について、バス利用者の需要喚起に向け、空港勤務者の通勤向け回数券/定期券の新設等の運賃割引率を高める工夫を検討いただきたい。

② 非自走器材置き場（65スポット付近）での リムジンバス旋回について

国土交通
省東京局東
京空港事務
所との運用
の取決めが
あれば共有
頂きたい。



〈リムジンバス
旋回の図【航空
連合東京作成】〉

③ 利用者の視点からの利便性向上

JR蒲田-羽田空港シャトルバスの増便について検討をお願いしたい。また、羽田空港深夜早朝アクセスバスについて、今後も羽田空港の深夜早朝発着便が増加していくことが予想されており、運行の継続と充実をお願いしたい。

④ 羽田空港からのリムジンバスについて

バス車内における交通渋滞情報の共有をお願いしたい。また、ダイヤの充実によるさらなる利便性の向上や、お手洗い付バスの検討をお願いしたい。

7. 東京都

① 乗換え利便性の向上について

浜松町駅でのモノレール/JRの乗換えおよび天王洲アイル駅でのモノレール/りんかい線乗換えについて、早期の乗換え利便性の向上を要望する。

② 案内表示の改善について

デジタルサイネージの設置やピクトグラムなど、見やすい文字、適切なコントラストの使用等の推進を検討いただきたい。

③ バリアフリーな空港アクセスの実現について

ユニバーサルデザインタクシーの導入を検討いただきたい。

④ 適切な情報提供について

空港および空港アクセス部分においては、ユビキタス技術なども活用した多言語による情報提供を検討いただきたい。

⑤ バス・タクシープールの改善について

中長期的に混雑緩和を図り、夜間を含めた国際線ターミナルへのアクセス容量を拡大する観点から、羽田空港国際線ターミナルのバス・タクシープールのスペース拡充やルートの点検を行っていただきたい。

⑥ 羽田地区の利活用について

東京オリンピックにむけて、羽田空港周辺の土地を最大限活用するため、旧整備場地区や旧国際線ターミナル地区を羽田空港へのアクセス・利便性の向上や防災拠点として有効利用することを検討いただきたい。

発展する産業に向けて

1. 中部国際空港連絡道路の民営化について

中部空港連絡道を含めた有料道路8路線のコンセッションが進んでおり、2016年10月頃を目途に民間業者による運営が開始されると認識している。

航空関連の立場からも民営化されることで、通行料の値下げや、往復一括徴収で復路はノンストップとするなど、サービス・利便性向上を期待している。一方、安全面などについては、これまでの水準の確保をお願いしたい。民営化後も県として健全な運営を管理、監督し空港および地域経済の活性化を推進されたい。

2. 愛知県観光政策の充実について

① 訪日外国人旅行者への環境整備

2015年は訪日外国人旅行者数が1,900万人を超え、45年ぶりに訪日外国人数と出国日本人数が逆転した。継続的な訪日旅行プロモーション、燃油サーチャージの値下がりや円安、ビザの大幅緩和などによるものだと考えるが、急増した訪日外国人に対しての環境整備についてはまだ不足していると考えます。

例えば、①中部国際空港にもボディースキャナーが配置され、今後の増設に期待する一方、時間帯によってはまだ出入国に長蛇の列をつくり、旅行者に負担をかけている現状がある。②空港から観光地へのアクセスに関わる乗換えなどが非常に分かりづらい。③バリアフリー対応が十分ではないため不安感がある。いずれも、関係各社が連携して改善に取り組めるよう県の主導で、空港会社と共に受入環境の整備を図られたい。

② ホテル利用の増大対策について

国交省から「ホテル容積率緩和の方針」が示され、今後各自治体へ通知されることも発表された。ホテル側にとっても、規模が大きくなれば利益が出やすくなる利点もあるため、まずはこの動きを推進していただきたい。

愛知県へのホテル業界への進出が連日報道されており、喜ばしいところではあるが、空港周辺ではまだまだ進んでいないと認識している。空港周辺のホテルは特に予約が取りづらい状況にあり、飛行機の欠航などイレギュラーが発生した際は、ホテル確保の対応に苦慮している。

県及び自治体として将来見通しや助言・補助及び、安心して施設拡大に取り組める融資制度や補助制度を確立し、旅客の流入や出発前の前泊増などに対応できるよう、サポート制度を構築されたい。

働きやすい産業に向けて

① PBB装着時間に関して

国内スポットにおいて、ERAラインは大型機が駐機できるように設定されていることもあり、小型機がスポットインした際はPBBの移動およびフロアーの昇降に時間を要している。お客様の利便性を考えるうえで、PBBの装着にかかる時間を少しでも短縮できる対策の検討を要望する。【新規】

② PBB操作モニターについて

天候の良い昼間帯は操作モニターの映像がPBB自体の影で非常に見づらい。作業者が作動エリアに侵入してきても気づかない可能性があり、安全性に欠けている。日陰でも視認できるようなカメラや高画質のモニターの設置の検討を要望する。【新規】



(PBB操作モニターの状況)

③ 死角箇所のミラー設置について

ランプエリアから通行帯に侵入する際や、ソーティング場内の作業動線の縮小などで空港施設には作業員から死角となる場所が点在している。今一度、空港内でのハザードエリアを確認していただき、働く者の安全性の確保のため、カーブミラーや注意看板などの設置を要望する。【新規】

④ 国際線17A搭乗口設置のスカナーについて

天候のよい日に使用すると、天井からの日光の反射により搭乗券を読み取りにくくなり、対応に苦慮している。スカナーに日光が差し込まないようにカバーなどの設置を要望する。【新規】

⑤ GPU PIT施設について

GPU PITを接続する際にスポットによっては延長ケーブルカートを使用しているが、開港当初に比べて小型機ハンドリングが多くなっている。作業性向上の観点からGPUケーブルの長さを延長することを要望する。【新規】



(GPU PIT施設の状況)

⑥ ダムウェーターの明確な位置表示について

ダムウェーターを使用して手荷物の授受を行う際に、ダムウェーターの位置が解りづらく時間を要することがある。また、施設内は暗く夜間は照明スイッチの場所も確認し難い。ダムウェーターの位置を通行帯からも確認できる表示方法の変更とともに

に、施設内照明を人感式ライトに変更し、夜間でも容易に照明を点灯できるように改善することを要望する。【新規】

⑦ 害虫駆除対策の継続について

ランプエリアに虫が大量発生し、駆除などでキャビンドアクローズが遅れるなど、ランプエリアでの作業に支障をきたしている。発生箇所の特定と事前の抑制に努めていただきたい。【継続】

⑧ センターピアトンネル内の自転車通行について

トンネルを自転車で通行する際は空港規定により自転車を押して通行しているが、歩行者通路が狭く、また出入り口は縁石により高くなっていることから自転車だけ車道に出た状態で通行している。トンネル内の安全確保の観点から、歩行者通路の改修を検討していただきたい。【継続】

⑨ HIGH POWER RUNUPエリアの新設について

航空機のHIGH POWER RUNUP が必要になった際に柔軟な対応が図られているものの、TAXI WAYでのRUNUPであり、他の航空機に配慮を必要とするため、作業時には依然として多くの制約がある。他の多くの空港に設置されているRUNUP エリアを中部国際空港にも設置することを要望する。【継続】

⑩ VDGS (駐機位置表示灯) の改善について

航空機のスポットインの際に、停止線で停まることができず停止線の手前もしくはオーバーランする事象が起こっている。特にオーバーラン発生時は、航空機がエンジンを回した状態で地上係員に急接近するため非常に危険である。事象の原因として、各スポットに設置されているVDGSが他空港の物に比べて非常に文字が小さく分かりにくいとの報告を受けている。VDGSに起因する不安全事故を排除するべく改善を要望する。【新規】

⑪ ランプエリアへのAED設置について

ランプエリアには依然としてAEDが設置されておらず、作業員からAEDを要請する連絡システムも周知されていない。深夜帯の増便やオープンスポットが拡張されているなか、作業員の安全を確保するうえでランプエリアにもAEDの設置を要望する。また、ターミナル内の既存のAED設置場所についても設置されていることが一目で分かるような工夫を要望する。【継続】

⑫ 貨物エリアの避難経路について

CJIACが指定している貨物地区の避難場所は貨物事務棟の屋上と確認しているが、有事の際に速やかに避難ができるか懸念がある。貨物事務棟屋上への避難場所の点検を含め避難訓練の実施を要望する。【継続】

利便性向上に向けて

① 国内線保安検査場通過後の動線について

保安検査場通過後の動線が空港の利用が不慣れなお客様にとって非常に分かりづらく、ゲートを間違えるケースが散見され、

遅延要因の一つとなっている。お客様へのスムーズな案内のために床面カーペットに各ゲートへの誘導線を示すことを要望する。【新規】

② 国際線16番搭乗口のダムウェーターについて

16番ゲートを通過後、左手側に設置されているダムウェーターを使用しようとするお客様が散見される。ランプエリアに直接出ることにはできないものの、保安上の観点から危険であり、スタンションなどの設置や鍵など開錠しなければ使用できないような仕組みづくりを要望する。【新規】

③ 救急車の配置について

中部国際空港では現在、救急車が配置されておらず、常滑市民病院への電話連絡となり、少なからず待ち時間が発生している。空港診療所の診療時間が17時までであることを踏まえ、作業員やお客様が安心して中部国際空港を利用するためにも、最終便までは救急車を配置することを要望する。【内容変更】

④ 出発ロビー受託手荷物測り器の案内について

内陸出発ロビーに配備されている手荷物測り器は旅客の増加に伴い使用頻度が上がっていると認識している。それに伴い設置場所についての問い合わせも多くなっており、地上係員が都度対応している。お客様の利便性向上の観点からも、設置場所の表示を手荷物カウンターからでも見て分かるように明確化すること、また施設案内板へ表記することを要望する。【新規】

⑤ CIQ手続きの迅速化・円滑化について

出入国手続きの迅速化・円滑化については関係機関が協力して対応していただいているが、依然として手続きに時間を要している。今後、増加していく訪日外国人旅行者への利便性、快適性を考えるうえでも、物的・人的体制の計画的な整備を引き続き要望する。【継続】

活力ある産業に向けて

① 中部国際空港を取り巻く競争環境について

中部国際空港の利用者数実績は、好調な訪日外国人旅行者需要により順調に増加しているが、格安航空会社 (LCC) を中心とした新規航空会社の就航によるところも大きいと考える。2016年度からの着陸料割引制度により更にLCCを中心に新規就航が進むものと考えている。

中部発の旅客が増えることは喜ばしいが、他空港と同様に異なるターミナルを使用するなど今後も増加するLCCと、JAL・ANAをはじめとするネットワークキャリアとの棲み分けを明確にしていきたい。

また、他空港では24時間営業の飲食店がオープンするなど、増加する早朝便・深夜便のお客様へ対応した店舗の展開を進めている。中部国際空港を利用されるお客様を一層獲得するためにも、空港内施設の営業時間の延長や魅力ある店舗の拡大など、検討をいただきたい。

関西国際空港について

1. お客様にとって利用しやすい安全・快適な空港を目指して

1) ターミナル施設・エリア関連

① 上階エスカレーターの車椅子使用時の危険性

旅客ゲートに設置されているエスカレーターは車椅子に対応できるように通常の3段分が平らになる設定ができる。平らとする設定とした場合、階段3段分の大きな段差が生じる。係員が車椅子を安全にサポートするには厳しい状況もあり、車椅子に搭乗されているお客様は恐怖心を抱いており、改善を要望する。



〈車椅子に対応したエスカレーター〉

② CIQ手続きの迅速化・円滑化、乗り継ぎの利便性向上について

訪日需要の拡大による検査場・出入国審査場の混雑緩和については施設改修等により対応をいただいているが、依然として入国審査場を中心に混雑が発生している。

その結果、ターンテーブルに運ばれる手荷物と旅客が来るタイミングが一致しないケースが多く、手荷物を別の場所に仮置きする必要があるため、その人員を各エアラインが捻出している。また、入国審査場の混雑は乗り継ぎにも支障が出ており、お客様対応や便振替などエアラインに掛かる負担が大きい。空港利用者のさらなる利便性向上に向け、施設改修ならびにファストレーン利用促進に向けた料金適正化を検討いただきたい。

③ Terminal2の施設改善ならびにTerminal3の展開に向けて

LCCの使用を前提とした設備投資は理解するものの、利用されるお客様の利便性、快適性に影響を与える以下の課題について改修をいただきたい。

<Terminal2>

- ・運用後の施設課題として挙げていた空調施設に関わる課題の改善。

<Terminal3>

- ・地上施設（給油ピット）の位置が前方貨物室ドアの延長線上にあり、ベルトローダー車を正面から装着することができない。角度をつけ装着することは手荷物や作業者が落下する危険性があるため、給油中の装着は禁止している。その結果、前方貨物室への搭降載は給油後となるため手荷物の搭降載に時間を要す。
- ・通常、R1に装着する車椅子搭乗用リフト車の後部リフターの真下に給油ピットがあるため、給油中の搭乗・降機及び車両移動が出来ず、R2のみ使用となる。



〈給油ピットの状況〉

④ 大震災に備えた対応について

- ・地震及び津波災害に対する人命の保護、被害の軽減、空港機能の早期復旧を目的とした業務事業計画（BCP）が大震災時に有効に機能するよう浸透に向けた働きかけを引き続き実施願いたい。
- ・地震津波避難訓練を継続的に実施いただくとともに、ランプエリアや島内の従業員を巻き込んだ訓練内容を検討いただきたい。
- ・ランプエリアで業務に従事している従業員への緊急情報発信手段が各社の無線頼みであり、大災害警報などの情報発信に遅れが生じる可能性がある。ランプサイドに設置されている放送設備の点検ならびに実際に試験放送を行うなど、有効性を確認いただきたい。

2. 働くものにとって安全に働ける空港に向けて

1) ターミナル施設・エリア関連

① 電動車椅子等の重量物搬送について

現状、電動車椅子や特殊な大型車椅子等の重量物を螺旋階段から搬送することが不可能であるため速やかに引き渡しをすることができず、お客様へのサービスや定時性への影響が課題として挙げられている。東京オリンピック・パラリンピックによる車椅子旅客の増加、更なる訪日需要拡大に伴う大量のゲート受け手荷物に備えエレベーターやゴンドラ等の増設を検討いただきたい。

② PBB施設全般の改善について

次の関連設備が老朽化しているため、安全の観点から点検、対応をお願いしたい。

●PBB先端モニターの改修

解像度が低下しており退避位置・待機位置の判別が難しいため早急に改修をいただきたい。

●PBB内段差解消に向けた改修

配慮旅客の利用増加が見込まれるなか、バリアフリーの観点から改修を検討いただきたい。

●PBB可動橋部分のカーペットの摩耗

車椅子のお客様の移動時、転倒の恐れがあるため改修を検討いただきたい。

③ エアライン棟のセキュリティ強化

他空港の多くがテンキーの常時運用、警備員の配置等により保安体制を強化するなか、関西空港のエアライン棟においては日中帯自由に出入りできる状況にある。海外で多発しているテロ等を未然に防ぐ観点からもセキュリティの強化を検討いただきたい。

2) ランプエリア施設関連

① AEDの設置、設置場所の明確化

AEDについては一部、各事務所内に配備している会社もあるが広範囲のランプ内で作業しているなか、緊急時に各事務所保有のAEDのみでの対応は困難である。ランプエリアを含め、関西空港内で働く従業員がいつでも使用できる共用休憩室（2016年 秋頃開設予定）への設置や設置場所を示す案内表示の明確化を引き続き対応いただきたい。

② 航空機誘導時の安全性向上に向けたVDGS（駐機位置表示灯）の導入

関西空港で発生した「航空機誘導時、誘導者が車両と接触した事故」の再発防止に向け、誘導者が航空機の前に立つ必要の無いVDGS（駐機位置表示灯）の導入など、安全性向上に向けた施設面の改修を検討いただきたい。

③ ランプエリアのマーキング、凹凸について

- ・A380用のPBB待機位置および退避位置のマーキングがなされているが全て白線であるため、PBB操作に際し見分けることが難しく、不安全事故に繋がる要因と捉えている。従来のマーキングと判別ができるよう、色分けを施す等の改善を空港運営会社としても検討いただきたい。
- ・スポットにある外部電源用のマンホールが隆起し、作業時脚立を設置した際にバランスが悪く非常に危険である。また、コンクリートの継ぎ目部分等にも段差や凹凸があり、走行時のGSEに負担がかかり故障の原因になっている。ランプ内の隆起及び段差、凹凸を継続的に改修いただくと共に、水たまりがでやすい箇所の改修についても検討いただきたい。
- ・Terminal2ではゲートから航空機までのランプ内旅客動線の

白線表示が分かり難く、逸脱する旅客が多い。また、スポット94については動線上に水たまりができやすく逸脱せざるを得ない箇所もある。安全の観点で動線の明示および水はけの改良を検討いただきたい。

④ 従業員数に見合ったトイレの設置

- ・ランプエリアのトイレが従業員数に見合っていない。ターミナル北側スポット16、15付近及び、南側スポット27、28付近には複数会社にそれぞれ100人以上の従業員が勤務しているが、男性用個室トイレが2箇所しか設置されていない。今後、更なる増便により増加が見込まれる従業員数に見合ったトイレの設置を早急に検討いただきたい。
- ・貨物地区、エアライン棟について、快適性向上のためウォッシュレット・ウォームレットの設置を検討いただきたい。

⑤ ランプエリアのゴミ箱設置について

過去、PBB付近に設置されていたゴミ箱が廃止されたことにより、ランプエリアのゴミは各作業者が拾い作業終了後に持ち帰っている。LCCの新規就航やバラ積み機材（B737など）の増加により、手荷物タグなどのゴミが増えている。過去に設置されていたゴミ箱は蓋が無い円筒形のゴミ箱であったが、強風時の飛散防止のためにも蓋つきのゴミ箱を数カ所設置していただきたい。

3) 貨物地区エリア

① 国際貨物地区の横断歩道表示

国際貨物地区の代理店上屋横の横断歩道について、第1・第2代理店ビル横のものは標示が消えかかっており、第3ビル横には標示自体が存在しない。国際貨物地区両者の安全のために改善をお願いしたい。

② バス停ならびに連絡橋における雨よけ

貨物地区合同庁舎前のバス停ならびに合同庁舎と代理店ビルを結ぶ連絡橋に屋根はあるものの雨よけが無く、雨ざらしとなっている。代理店の従業員からも「書類が濡れる」等の声が寄せられているため、当該エリアに屋根の設置をお願いしたい。また、バス停が道路脇に設置されており、交通量が多い時間帯は危険な状況にある。安全に待機可能な場所の設置をお願いしたい。

（バス停の状況）



1. お客様にとって利用しやすい 安全・快適な空港を目指して

1) ターミナル施設・エリア関連

お客様のニーズに合わせたサービスの提供ができるよう、下記の通り改善をお願いしたい。

① コンビニやショップ、アミューズメント施設の 拡充について

- ・ショップ、レストラン、アミューズメント施設等が充実した、航空機利用者以外でも足を運べる空港を目指し、お客様ニーズに合わせた施設の拡充。
- ・ターミナル内及びクリーンエリア内へ、ビジネス旅客のニーズに合わせた牛丼店やうどん店などのリーズナブルな飲食店の誘致。
- ・国際線乗り継ぎ旅客のニーズに合わせ、空港内北ターミナルへの両替所及び、海外Wi-Fiレンタル店舗などの設置。

② 駐車場について

- ・多客期間中は従業員も別の場所へ駐車する等、協力しているものの、ターミナル前の駐車場は満車となる事が多い。北ターミナル前や中央スペースの駐車場も立体駐車場の建設等、更なる拡充をお願いしたい。
- ・車両ナンバーが3ケタ、2ケタの車両へのナンバー認識システムの読み取り精度が悪いため駐車場出口で時間を要し駐車場利用のお客様にご迷惑をお掛けするため、認識システムの精度向上をお願いしたい。

③ ターミナル内外の案内表示について

- ・依然として駐車場の入口を間違えるお客様が多く、長距離・観光バスと一般車両の出入口の表示や事前精算機の案内等、各種案内表示について拡充をお願いしたい。
- ・ターミナル内、各種施設案内表示や床面への案内表示等、より自然にお客様の視野に入り、お客様の利便性向上につながる案内表示をお願いしたい。
- ・インバウンドのお客様のご利用が増加しているため、英語表示だけでなく、中国語・韓国語等、様々な外国人旅客が利用しやすいよう、サービス向上を引き続きお願いしたい。

〈ターミナル内外の案内表示〉



④ 車椅子ご利用のお客様向けエレベーターの設置

今後の高齢化社会や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、車椅子を利用されるお客様や高齢者に配慮し、車椅子が数台入れるエレベーターの拡充や、航空機搭乗までの動線を鑑みたエレベーター増設をお願いしたい。

2. 働くものにとって安全に働ける空港に向けて

1) ターミナル施設・エリア関連

① 空港内への託児所の設置について

他空港でも託児所を設置し、従業員だけでなく地域住民のニーズに貢献していることもあるため、託児所の設置や近隣託児所の斡旋などの検討を引き続きお願いしたい。

② 従業員向け館内割引拡大について

空港内で働く従業員向けの館内割引を拡大し、働くものがより便利で利用しやすい環境整備をお願いしたい。

③ 空港周辺の保安について

ターミナル開館時間が5時30分になったことから、空港職員だけでなくお客様への安全面の強化として、空港周辺の照明点灯時間の前倒しや、不審者への警戒、パトロールを更に強化していただくとともに、空港警察へ不審者への警戒を働きかけていただきたい。

〈空港周辺の夜間の状況〉



④ ターミナル前道路の自転車通行帯の設置について

自転車をモノレール架線下駐輪場に止めるための動線と、お客様がバスを待つ場所が重なっているため、狭い場所で自転車を押しながら移動しており危険である。自転車専用の通行帯を設置するなど環境整備を検討していただきたい。

⑤ JALターミナル側駐輪場の屋根設置について

北ターミナル側仮設駐輪場の駐車位置の明確化、及び屋根の設置をお願いしたい。

〈駐輪場の状況〉



2) ランプエリア施設関連

① ランプエリアの照明について

- ・ランプエリア内全体をムラ無く鮮明に照らせるよう、照明設備の照度の改善をお願いしたい。
- ・ランプエリア内の照明が暗く、夜間のプッシュバック時には TAXI LINE が非常に見えづらい。またオープンスポットのハンドリング時には、航空機への搭乗・降機時に投光器を使用しているのハンドリングを実施している。お客様の安全性の観点からも照明設備の改善を検討いただきたい。

② 路面の凹凸ならびに水はけについて

- ・第1エプロンの場周道路が大変狭く、バス等の大型車両が通行する際危険な状況であり、改善をお願いしたい。
- ・降雨時の視認性確保の観点から、TAXI LINE の黒ペイントによる縁取りや、TAXI LINE ・ランプエリア凹凸の改善をお願いしたい。また、ターミナルビルや中央棟からの光が水たまりに反射し、到着機が TAXI LINE を視認できない事例もあるため、降雨時の雨水・下水処理の拡充をお願いしたい。

③ VDGS設置について

- ・他空港にて航空機誘導時に誘導者が車両に轢かれる事象も発生しているため、ターミナル改修に合わせてVDGSの設置を検討いただきたい

④ 各種標識・看板のリペイントについて

- ・固定橋の高さ制限表示や、各種表示・看板などの老朽化に伴い見えにくくなっているため、リペイント等の対応をお願いしたい。

3) 貨物地区エリア

① 貨物上屋・総合ビル前の違法駐車改善について

総合ビル前の違法駐車対策の再検討をお願いしたい。以前、対策として設置されたポールについては、当初効果がみられたが、ポールの隙間も多く、現状はポールの隙間に駐車する等の違法行為も見受けられる。また、マナーの悪い運転手のゴミ投棄も散見されるため、更なる改善をお願いしたい。

② 貨物上屋の今後について

貨物上屋の老朽化対策の推進とトイレの利便性向上を引き続きお願いしたい。お客様用のトイレも不足している。必要な施設の増設をお願いしたい。

神戸空港について

1. お客様にとって利用しやすい安全・快適な空港を目指して

1) ターミナル施設・エリア関連

① ゲートアナウンスの改善について

- ・ゲートアナウンスは依然としてターミナル内に反響して聞こえづらい。ターミナルの構造上難しいかもしれないが、改善を検討していただきたい。
- ・喫煙室とラウンジにはアナウンスが流れず、お客様の搭乗が遅れる場合があるため、改善を検討していただきたい。
- ・便をお知らせするアナウンス音が緊急避難の音と似ているため、お客様より改善の声をいただくことが多い。改善を検討していただきたい。

② 駐車場割引の周知

駐車場割引システムの周知について依然としてお客様から係員への問い合わせが多い。お客様への周知方法等、引き続き工夫・検討をお願いしたい。

③ 駐車場ラインマーキングの改善

第1駐車場の駐車ラインマーキングが不明確となっているため、改善いただきたい。



〈駐車場のラインマーキング〉

④ 連絡橋の雨天時吹き込みの防止

ポートライナー駅とターミナル連絡橋の雨天時吹き込みを改善していただきたい。

2. 働くものにとって安全に働ける空港に向けて

1) ランプエリア施設関連

① ランプ内安全

ランプエリアから場周道路に入る際、固定橋の死角となり見通しが悪く危険である。カーブミラーの設置等も含め改善をお願いしたい。



〈ランプエリアからの死角〉

航空局／福岡空港ビルディング共通

1. 福岡空港の利便性、航空保安向上にむけて

① 東側再整備事業の広報体制強化について

ターミナルビル内の工事が本格化しており、旅客動線と航空各社カウンターの配置が大きく変化している。旅慣れたお客様でも時間通りにご搭乗いただけなくなるケースも出てきており航空会社の重要な品質である定時性を維持できない状況にある。本工事による空港利用者への影響の周知や早めの空港到着を呼び掛ける広報活動を強化していただきたい。具体的には、地下鉄の中刷り広告や博多駅・天神駅やバスターミナルなどの主要なアクセスポイントに広告の設置を検討いただきたい。

② 増加する国際線運航便受け入れ体制強化について

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて訪日外国人旅行者数の目標が引き上げられた。福岡においても海路や空路による訪日外国人が増えている。国際線ではPBB付きスポットやチェックインカウンター、CIQ施設の不足を訴える声が継続的にあげられている。関係省庁と連携の上、国際線エリアのスポットやターミナルビルなどの施設面からの体制強化をお願いしたい。

③ 国際線到着ロビー税関構内の保安強化について

訪日外国人が増える中、国際線到着ロビー手荷物搬入所の1番と4番のドアが施錠されておらず保安上大変問題があるとの声が現場からあげられている。国際線到着ロビー税関構内からお客様が制限区域に出る可能性があるため、航空保安維持の観点から税関当局にも協力してもらえよう働きかけをお願いしたい。

航空局への要請

1. 安全で働きやすい空港を目指して

① ランプ内の凹凸の改善について

東側再整備工事に伴いバスハンドリングが増加している。ランプ内のくぼみをバスや整備車両が通過する際大きく揺れて、お客様や器材が転倒する恐れがある。特に18番スポット前のくぼみについては補修の強い要望があがっている。工事後は車両動線や自転車走行動線にあたる部分は段差なく平面に仕上げよう工事業者との調整をお願いしたい。

② スポット清掃による負担の平準化について

福岡空港のような混雑空港では日中帯にスポット清掃を行うことが困難なため、運航終了後に実施せざるを得ないが、日によって清掃対象スポット数に著しい偏りがある。機体をトイニングする作業が深夜と翌朝に発生するが、作業量の負担と翌朝の定時性に影響するため清掃対象スポットの平準化をお願いしたい。

③ タクシーウェイ中心線の視認性向上について

タクシーウェイに埋設している灯火がタグ車ドライバーから見えづらく経験頼りで正対させている。灯火の照射範囲の見直しや、路面標識の色彩を変えるなどの対応策の検討をお願いしたい。

④ スポットの航空機停止線の明示について

航空機停止線の標識が経年劣化により不明瞭なものが散見される。定期的な点検と修理の強化をお願いしたい。あわせて航空機誘導員が認識しやすい標識への変更も検討していただきたい。

2. 東側再整備後のランプに関する要請

① ランプ内のマンホールの設置位置について

歴史ある福岡空港では旧型の航空機や特殊車両に合わせた設計の名残と思われる施設がある。たとえば航空機に電気を供給するケーブルが設置してあるマンホールは非常に不便な位置関係にある。東側再整備工事後は、航空機や特殊車両との位置関係を精査したうえで各種施設の設置をお願いしたい。



〈タグ車と電源ケーブルの位置関係〉

② 誘導路複線化工事後の標識間隔について

福岡空港はタクシーラインとABLラインの間隔がスポット毎に異なっておりタグ車ドライバーの経験に裏打ちされた技量により旋回ポイントを都度調整している。誘導路複線化工事後は間隔のバラつきがないよう調整していただきたい。

③ 国内線スポットへのERAライン設置について

現行の国内線ターミナル側においてERAを示す標識がないため、東側再整備工事後は、国際線スポットと同様にERAラインの設置をお願いしたい。

④ オープンスポットでの被雷退避所設置について

福岡空港では夏季と冬季に落雷の危険性から地上作業が一時中断されることが珍しくない。工事の影響で各社の事務所が北側に移設することもあり、南側のオープンスポットエリアにおいては地上作業員が退避することが困難になる。一時的に落雷から退避するための施設設置の検討をお願いしたい。

福岡空港ビルディングへの要請

1. 安全で快適な福岡空港を目指して

① PBB併設の階段の滑り止めについて

経年劣化から階段に埋め込まれた滑り止めが機能していないものがあり、雨天時に乗務員が転倒して交代要員を手配することになった事案も発生している。PBBの滑り止めの劣化防止のため点検・改修の強化をお願いしたい。

② 既存PBBのモニターディスプレイの更新について

東側再整備事業の中でPBBは順次更新されるが、既存PBBの中には、オペレーターが安全確認しにくいほど画質が劣化したモニターディスプレイがある。PBBの安全対策としてモニターディスプレイの更新もお願いしたい。

③ 新ターミナル完成後の保安強化と テンキー操作負荷軽減に向けて

お客様の荷物を抱えて制限区域を往来する従業員からテンキーのIC化の要望は根強く挙げられている。別棟でのIC化の運用を踏まえ、新ターミナルビルへの展開を検討するとしていたが検討状況を伺いたい。

④ 利用者や従業員にとって魅力ある空港作り

早朝から深夜まで常に従業員がいる空港の環境を踏まえ、東側再整備後は食事施設やコンビニエンスストア、自動販売機の店舗誘致をお願いしたい。

2. 安全で快適な福岡空港を目指して

① 国際線ターミナルのWi-Fi環境の強化について

入国審査の際、訪日外国人のお客様が滞在先等を調べるためにインターネットにアクセスすることがあるが、Wi-Fi環境が良くなくインターネットに接続できないことが散見されるため、Wi-Fi環境の整備をお願いしたい。

② 国際線案内所の機能の浸透について

訪日外国人旅行者の増加にともない、多様な言語のお客様も増えているが、係員が対応に苦慮する場面も見受けられる。福岡空港ビルディング社が設置しているカテゴリー3の案内所が多言語対応サービスを提供していることを関係者間で共有し、福岡空港における訪日外国人の対応力を向上していただきたい。

③ 訪日外国人向けの動線マーキングについて

セットバック工事期間中は旅客動線が頻繁に変更され、一時的に狭隘なところでは歩行秩序維持のために進行方向を示す床面マーキングがなされている。このようなサイネージは外国人にも分かりやすいため、地下鉄やバス、タクシーなど空港以遠への交通機関への動線にも床面マーキングをお願いしたい。

④ スポット59番へのエレベーター設置について

LCC就航数の増加に伴って、59番オープンスポットの使用頻度が高まっている。ホイールチェアのお客様が到着ロビーまで移動するには危険な場周道路脇を通らねばならず、かつ風雨が避けられないため、動線の改善要望が上がっている。エレベーターやエスカレーター設置の検討をお願いしたい。

⑤ 内際シャトルバスの混雑緩和について

訪日外国人が増える中、内際ターミナル間シャトルバスの混雑が生じている。とりわけ午前8時から10時および午後2時から5時にかけて混雑しており、係員が乗車待ちせざるを得ない状況もあるため増便も視野に対応策の検討をお願いしたい。

3. その他の要請・確認事項について

① 貨物地区ゲートの混雑解消に向けて

貨物地区のゲートは登録車と未登録車にそれぞれ1レーンずつ設けてあるが午前7時から午後8時までは1レーンのみの開設になっており、渋滞したトラックが交通の妨げになっているため2レーン開設時間の拡大をお願いしたい。

② 貨物地区の各社上屋への標識設置について

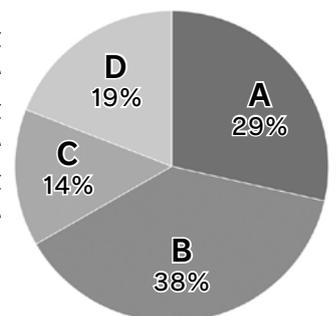
福岡空港に馴染みのない貨物運送事業者が貨物ゲート通過後、迷走する事例が報告されている。各社上屋への案内標識設置の検討をお願いしたい。

③ 福岡空港における事業所内保育所の検討について

福岡空港に保育施設を求める意見は女性組合員を抱える労組から根強く挙げられている。昨期の福岡空港ビルディング社の回答を踏まえ、調査を行ったところ利用意向者が多くいることが確認された。需要調査や支援制度の調査含め、空港内に保育施設誘致の検討を改めてお願いしたい。

● 空港託児施設利用意向アンケート

- A：他の保育施設の利用料金より高くても利用したい
- B：他の保育施設の利用料金と同等ならば利用したい
- C：他の保育施設の利用料金より安ければ利用したい
- D：利用しない



【航空連合福岡作成】

航空交通に関する事項

① 沖縄振興の恒久化・利用者負担の軽減

沖縄は日本で唯一、陸路で結ばれていない島嶼県であり、域内・外の輸送手段として航空輸送の位置づけは極めて重要である。特に航空輸送の充実を図る上では航空運賃の低廉化は最重要課題であり、政府は沖縄振興策の一環として那覇一本土路線の航空機燃料税の軽減措置や空港使用料（着陸料・航行援助施設利用料）の軽減措置を実施し、航空運賃の引き下げを図っている。しかし、沖縄振興策は時限立法であることから、これらの制度を恒久的に実施するとともに、下記の措置を実施し運賃の引き下げを通して利用者の負担を軽減していただきたい。

- ① 沖縄県内一本土路線の航空機燃料税を廃止とすること。
- ② 空港使用料の軽減措置について、恒久的に実施すること。

空港整備計画に関する事項

① 那覇空港

- 1) 第二滑走路増設に伴う空港全体整備計画においては、今後も拡大が予想される需要に十分対応できるよう、ターミナルや管制塔の配置、誘導路の位置や本数など関連各社も交えて十分に検証を行うことを要請する。
- 2) 第二滑走路増設までに拡大する当面の需要への対応について対策を講じることを要請する。
- 3) ランウェイ18利用の際、出発待ちの機体が行列となり、北フィンガー 33～36番スポットに到着機が入ることができない状態が発生している。対策を求めるとともに、今後の空港整備計画において改善するよう要請する。
- 4) 若狭バスへの大型クルーズ船寄港増加により那覇空港へ着陸する航空機が上空待機となり到着遅延となるケースが増加している。今後の第二滑走路増設含む空港整備計画においてこのようなケースが発生しないよう対応を要請する。
- 5) 国際航空物流拠点としての那覇空港の活用については、今後の需要拡大を見据えたうえで空港整備計画を進めていくことを要請する。

空港整備に関する事項

① 那覇空港

- 1) 那覇空港供給増に伴う対応としてGSE（地上器材）置き場は需要を検証したうえで十分なスペースを確保して頂くようお願いしたい。

- 2) 北フィンガー周辺および機材整備工場付近の場周道路に大きな段差があり安全上問題があるため、定期的な補修作業を行うことを要請する。

〈場周道路の段差〉



- 3) 9番ゲートから入構し西側整備地区までの動線において道路側溝に蓋がなく安全上問題があると考え、蓋を設置するなどの対応をお願いしたい。

② 離島空港

- 1) 宮古空港のスポット1番を安全性・利便性の観点から北側への拡張を要請する。
- 2) 新石垣空港のオープンスポットについて、雨天時水はけが悪くお客様および地上器材車両の動線に影響がでているため改善を要請する。
- 3) 石垣空港ターミナルから一般道への避難経路は現在国道アクセスのみとなっていることから他経路確保について検討頂きたい。

空港管理に関する事項

- 1) 県内各空港において発生しているバードストライク（鳥衝突）については安全運航堅持のため防止策をより一層強化することを要請する。
- 2) 那覇空港の離発着増加により、恒常的に遅延が発生している。混雑緩和に向けて対策を講じることを要請する。
- 3) 那覇空港における23時から25時半までの滑走路点検に伴う閉鎖について、利便性向上の観点から、より柔軟な運用について検討頂きたい。
- 4) 昨今航空保安の重要性が一層拡大しており県内各空港においてもさらなる保安体制の強化が望まれる。航空保安の問題は国家安全保障に関わる国全体の問題であることから、国が一義的責任を負い、自治体・航空関連各社と連携しながらその対策強化を進めることを要請する。
- 5) 大災害に備えた対策として、県内各空港における災害時の体制について、より一層の明確化を図り、国・自治体・関連各社が連携し働くすべてのものまでその周知を図る対策をとることを要請する。
- 6) 大型台風等による空港被害の際にはより迅速に復旧できるよう対応を講じることを要請する。
- 7) 県内各空港において、災害発生時や雷接近・暴風雨時等における警報発令について、退避基準にバラつきがでないよう、一律的な情報発信を実施するよう検討頂きたい。

空港施設に関する事項

① 那覇空港

- 1) ランプ内での事故防止のため全PBBへのタイヤガード設置

- を要請する。
- 2) 利用するお客様の満足度を高める目的から全PBBへの空調設置を要請する。
 - 3) 訪日外国人旅行者の増加に対応し、外国人旅行者が沖縄（日本国）への出入国を円滑かつ快適に行えるように、CIQに係る予算・定員の充実を図り、必要な物的・人的整備強化を図ることを要請する。
 - 4) 夏場・繁忙期に限らず空港保安検査場の混雑が慢性化しているため、保安検査場の追加・人員配置の見直しなど対策を講じることを要請する。
 - 5) 空港内で働くものが仕事と家庭の両立をはかれるよう、空港内における託児所設置について検討頂きたい。
 - 6) 那覇空港国内線のゲートから到着口までの動線について、よりわかりやすい場所・デザインでの表示を検討頂きたい。
 - 7) 那覇空港においてLCCは貨物ターミナルにて案内・搭乗手続きを行っているが、国内線ターミナルにあると認識されるお客様が多いことから、よりわかりやすい案内となるよう那覇空港およびLCC各社で連携して検討頂きたい。
 - 8) お客様専用立体駐車場について経年劣化による腐食等がみられる。安全上問題であることから修繕工事を検討頂きたい。
 - 9) 国内線ターミナル・国際線ターミナル・駐車場・バスプール間の移動においては雨天時においても風雨にさらされないようアーケードを設置するなど、さらなる環境整備を図ることを要請する。
 - 10) バスプール付近でのごみの投棄、空港周辺の車両動線でのタバコの吸殻ポイ捨てなど景観を損ねる状況について、注意喚起を促すなど対策を図ることを要請する。
 - 11) 那覇空港国内線ターミナル1Fレンタカー利用者送迎バス乗り場について、動線に関する案内表示をよりわかりやすくするよう検討頂きたい。
 - 12) 那覇空港国内線ターミナル1F到着口において、一般用降車場スペースが狭いため渋滞や所定場所以外での駐停車が発生している。タクシー・バス・レンタカー利用者送迎バス乗り場スペース含めてレイアウトの見直しを検討頂きたい。
 - 13) 那覇空港国際線ターミナルのコインロッカーについて大きな荷物にも対応できるサイズのロッカー増設を検討頂きたい。
 - 14) 那覇空港内において従業員用食堂の設置について検討頂きたい。

（那覇空港 1 階到着口混雑の状況）



② 離島空港

- 1) ランプ内での事故防止のため、全PBBへのタイヤガード設置を要請する。
- 2) 新石垣空港離着便数増加への対応として、PBB増設について検討頂きたい。
- 3) 宮古空港のPBBについて老朽化が進んでいることから更新を検討頂きたい。

- 4) 新石垣空港施設不具合の際の対処についてより早急な改修ができるよう要請する。
- 5) 新石垣空港内において働くものが仕事と家庭の両立をはかれるよう、空港内における託児所設置について検討頂きたい。
- 6) 新石垣空港・宮古空港において従業員専用駐車場の利用時間の見直しを要請する。
- 7) 宮古空港駐車場について利便性の観点からカート置き場の設置を要請する。
- 8) 新石垣空港・宮古空港において利便性の観点からコンビニエンスストアの設置を検討頂きたい。

空港アクセスに関する事項

① 那覇空港

- 1) 空港利用者拡大への対応として、公共交通機関による空港アクセスについては、その本数・路線等運行体制について検証したうえで、さらなる利便性向上を図ることを要請する。
- 2) ゆいレールについて県外からの観光客利便性向上の観点から、県外にて利用されている交通系ICカードとの連携について検討頂きたい。
- 3) 空港から、うみそらトンネル方面に向かう北口交差点は右折矢印信号がなく、渋滞の発生および無理な右折による危険な状況となっているため、右折矢印の追加または次善の対策を検討頂きたい。

② 離島空港

- 1) 新石垣空港へのアクセスについて、現在の国道390号線ルートより西側を通る新たなルートの整備について決定されているが、現在のルートは通学路もあり安全面でも懸念があることから早急な整備について要請する。
- 2) 宮古空港から市内へのバス運行について、利用者によりわかりやすい時刻表表記および案内方法を検討頂きたい。

観光振興に関する事項

- 1) 鉄軌道計画の推進や、ゆいレール延伸計画、泊港の混雑緩和など交通インフラの整備は観光産業の発展に重要な役割を担うことから、計画のより一層の推進を要請する。
- 2) 県内各空港や観光施設のバリアフリー化をより一層推進することを要請する。
- 3) 急速に拡大するインバウンド需要への対応として、県内各空港および観光・宿泊施設、街中における多言語対応および無線LAN対応をより一層推進していくことを要請する。
- 4) 入域観光客数増に向けた取り組みについては、沖縄県・自治体・観光業界が連携し、さらなる取り込みができるような施策を構築し推進していくことを要請する。
- 5) 沖縄県における観光産業は、環境資源に大きく依存していることから、観光地における環境と景観の保全について、より対策を強化することを要請する。